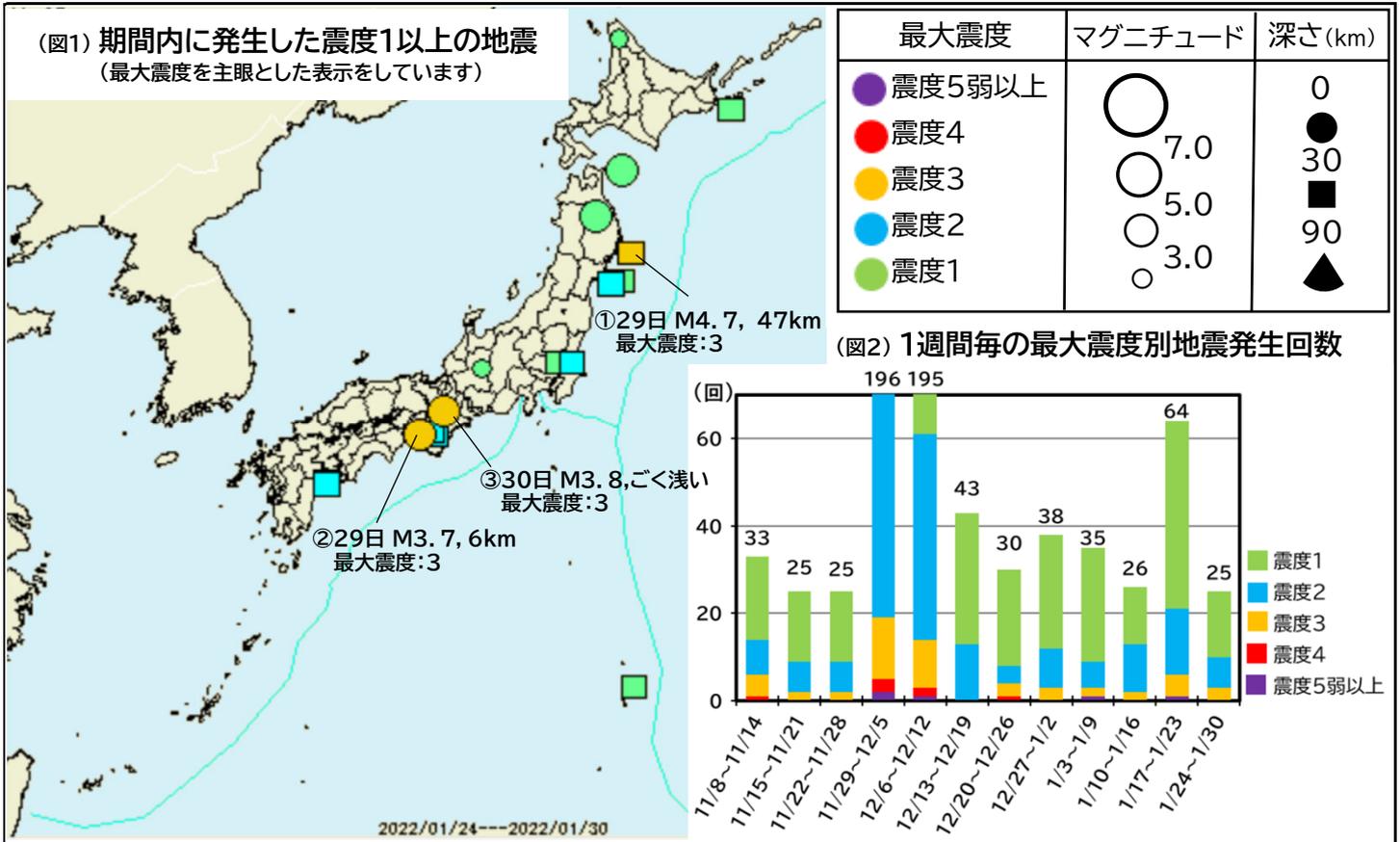


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

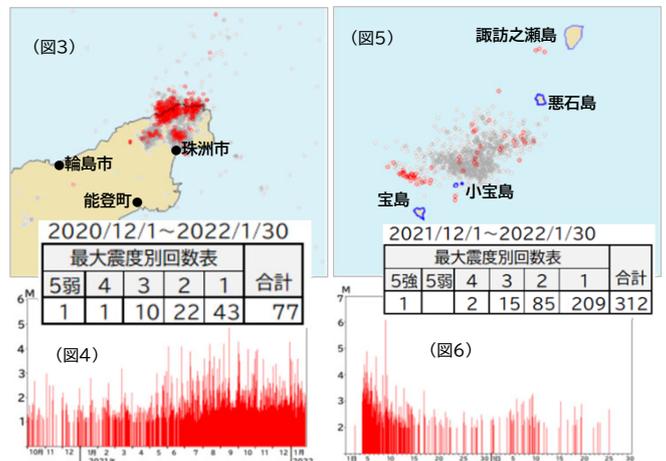


主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が25回発生。最大震度は3。 ■
- この期間、震度1以上を観測した地震は、前期間に比べ発生数が少なく、平均的な回数でした。
- ①29日06時00分に岩手県沖で発生した地震(M4.7、深さ47km)により、岩手県釜石市・一関市、宮城県気仙沼市・石巻市で震度3を観測したほか、青森県から宮城県にかけて震度2~1を観測。岩手県沖と宮城県沖との境界付近の定常的な活動域内で発生したもの。
- ②29日10時59分に和歌山県北部で発生した地震(M3.7、深さ6km)により和歌山県湯浅町で震度3を観測したほか、和歌山県内で震度2~1を観測。有田川周辺の定常的な活動域内で発生したもの。
- ③30日15時26分に奈良県で発生した地震(M3.8、ごく浅い:暫定値)により、三重県伊賀市で震度3を観測したほか、滋賀県から大阪府にかけて震度2~1を観測。

トピックス

- 能登半島北部の地震、トカラ列島近海の地震、それぞれのその後 ■
- ・能登半島北部の地震:2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃から更に活発になっている。最大の地震は、2021年9月16日に発生したM5.1(最大震度:震度5弱、珠洲市)の地震。その後も、2021年12月31日にM4.3(最大震度:震度3、珠洲市)の地震が発生するなど、活発な地震活動が継続している。2020年12月1日~2022年1月30日までに発生した震度1以上の最大震度別回数は、図中の表のとおりで合計77回。  
他の地域で発生した同じような規模の地震活動に比べると、この地震は活動が長期間続いている。
- ・トカラ列島近海の地震:2021年12月からトカラ列島近海で地震活動が活発になった。最大の地震は2021年12月9日に発生したM6.1(最大震度:5強、十島村悪石島)。2021年12月1日~2022年1月30日までに発生した震度1以上の最大震度別回数は、図中の表のとおりで合計312回。最近の活動はこれまでより宝島寄りが活動の中心となっている。活動全体は穏やかになっている。



1997年10月以降に発生した地震の震央分布図と地震活動経過図  
赤丸:2022年1月1日以降に発生した地震  
灰丸:赤色の地震より前に発生した地震  
図3、図4:能登半島北部の震央分布図(M≥1.0)と地震活動経過図  
図5、図6:トカラ列島近海の震央分布図(M≥2.0)と地震活動経過図